

### 施策評価調書(2年度実績)

				施策コード	I-1-(3)	
政策体系	施策名	児童虐待の未然防止・早期対応等切れ目ない支援	所管部局名	福祉保健部		
	政策名	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部		
				長期総合計画頁	23	

#### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	子育ての悩みや不安の解消等、 虐待の予防体制の強化	児童虐待に対する取り組みの強化	児童養護施設や里親など家庭に代わる 養育(代替養育)の充実

#### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i	③	H26	28.2	34.2	34.9	102.0%	38.0													

#### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 里親リクルート活動、里親向け研修の実施、里親のつどいの開催、里親宅への訪問支援やレスパイトケアの実施等により、目標値を達成することができた。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・24時間365日対応の専用電話相談窓口(いつでも子育てほっとライン等)において、育児に関する相談に応じ、虐待の未然予防を図った。 (子育て支援・虐待対応協力員の配置数 目標14名 実績14名)
②	・市町村要保護児童対策地域協議会の実務者会議(毎月開催)に児童相談所の担当ケースワーカー等を毎回派遣し助言指導を行うとともに、関係機関での情報共有や対応に係る連携の強化を行った。 (市町村要対協 実務者会議開催回数 目標250回 実績252回)
③	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付を実施することにより、施設退所者等の経済的自立を支援することができた。 (貸付件数 R2:33件 前年比+5件)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	いつでも児童相談体制整備事業	—	20
②	児童虐待防止対策事業	100.8	20
③	里親リクルート対策事業	135.0	20
	児童養護施設退所者等支援強化事業	103.1	21

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回おおい子ども・子育て応援県民会議 (R2.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里親との関係、(里親が)子どもを受け入れた後のフォローが大事。里親支援専門相談員が地域に出向いて支援してくれているが、児相職員も地域に出向いて支援してもらいたい。</li> <li>・児童養護施設等を巣立った子どもへの支援が必要。例えば、大学等には進学したが、コロナ禍で、アルバイトができないので生活費に困っている子どもがいる。</li> </ul>	<p>○第6回県政ふれあいトーク(R2.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里親を支えてほしい。里親のストレスを吸い上げてもらえるところがあるといい。里親が児相に相談したら的確な助言が受けられるように里親担当の組織の整備をお願いしたい。</li> </ul>
---	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年急増した児童虐待相談や支援が難しい事例に対応するため、関係機関との連携や児童相談所の法的対応力の強化を図る。</li> <li>・児童相談所における里親担当部門の体制強化を図り、里親支援を充実させる。</li> <li>・里親リクルート活動員を中心に市町村と連携して里親制度の普及啓発活動等による里親登録数の増加を図り、里親委託をさらに推進する。</li> </ul>